

## 中国横断新幹線（伯備新幹線）関連の主な取り組みについて（報告）

### 1 圏域市長会総会・意見交換会（平成30年8月9日）以降の動き

平成30年10月29日

「(仮称)『中国横断新幹線（伯備新幹線）中海・宍道湖・大山圏域整備推進会議』設立準備会」（以下「準備会」）設立

- \* 構成：圏域5市（松江・境港・安来・米子・出雲）
- \* 会長：松江市長

平成30年11月15日

国土交通省要望

1. 「中国横断新幹線」の整備計画への格上げ
2. 新幹線整備にかかる予算総枠の拡大
3. 整備事業費の地元負担の在り方の見直し
4. 並行在来線を経営分離しないために必要な措置の検討

- \* 対応者：寺田吉道 官房審議官（鉄道局）
- \* 出席者：圏域5市長及び松江、出雲市議会議長
- \* その他：前日、関係国会議員に面会し、準備会設立を報告

平成30年11月28日

「新幹線導入促進議員懇話会」（島根県議会）発足

- \* 構成：自民党県議有志18名
- \* 会長：浅野俊雄 県議

平成30年12月 3日

「新幹線の早期実現に向けた講演会」

- \* 主催：出雲市商工団体協議会  
(出雲商工会議所、平田商工会議所、斐川町商工会、出雲商工会)
- \* 会場：出雲市役所本庁1階 くにびき大ホール
- \* 講師：京都大学大学院教授 藤井 聡 氏
- \* 参加者：190人

平成30年12月25日

「新幹線の現状等についての研修会」

- \* 主 催：準備会
- \* 会 場：くにびきメッセ 601大会議室
- \* 講 師：国土交通省鉄道局幹線鉄道課 課長補佐 河野真典 氏
- \* 参加者：160人

## 2 各市議会における新幹線議員連盟の設立状況

平成29年12月 「山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟」  
設立済（松江市議会）

平成30年 2月 「新幹線整備促進議員連盟」設立済（出雲市議会）

## 3 今後の予定

平成31年 5月

（仮称）「中国横断新幹線（伯備新幹線）中海・宍道湖・大山圏域整備推進会議」設立

- \* 中海・宍道湖・大山圏域の自治体、議会、経済団体等に参画を呼びかけ、設立する。
- \* 新幹線整備の実現には、その必要性や便益だけでなく「地元の熱意と政治の力が必要」と言われている。  
行政としての取り組みに、「地元の熱意」ともいえる経済団体を中心となった力強い活動や、「政治の力」である各議員の方々の強力な支援も合わせ、圏域が一体となった運動を本格的に開始する。

平成31年 6月

国要望及び関係国会議員等訪問活動の実施

### その他

総決起大会

鳥取、島根両県が関わる既存の期成同盟会の活性化の働きかけ

有識者ヒアリング

導入効果等に関する調査研究

先進地視察

住民への広報・啓発

などを開催・実施する予定

「(仮称)『中国横断新幹線(伯備新幹線) 中海・宍道湖・大山圏域  
整備推進会議』設立準備会」 設立趣意

中海・宍道湖・大山圏域が、山陽・四国など瀬戸内圏をはじめ、関西や九州、さらには東海、首都圏等と新幹線ネットワークで結ばれると、「人とモノの交流」が活発となります。これは、民間投資の増加や都市活力の増進、広域観光ネットワークの形成等、この圏域の経済力・地域力・魅力を大きく向上させ、定住人口や交流人口の飛躍的な拡大につながり、地方創生に大きく寄与することが期待されます。

また、全国共通の大きな課題である「人口減少・少子高齢化」「東京一極集中による地方都市の衰退」に歯止めをかけるため、更には、大規模災害に備えた代替機能確保の観点から、国を挙げて「地方創生」「国土強靱化」を強力に推進する必要がある、新幹線ネットワークの整備は、その実現のための最も有効な手段の一つです。

日本海側国土軸として昭和48年に基本計画路線となった「山陰新幹線」に加え、日本海側と山陽側の国土軸を結ぶ南北軸であり、同じく基本計画路線である「中国横断新幹線」(岡山～松江間)、いわゆる「伯備新幹線」の整備は、両新幹線の意義、価値及び効果を高め、この圏域の飛躍的な発展はもとより、国土全体の強靱化にも貢献し、国益に大きく資するものと考えます。

しかしながら、「中国横断新幹線」(伯備新幹線)は、「山陰新幹線」同様、基本計画路線に指定されてから40年以上にわたり、具体的な進展がない状況です。

国においては、「幹線鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査」(平成29年度、30年度)が実施され、基本計画路線を含めたネットワークについて調査・研究がなされています。この調査結果等を踏まえ、基本計画路線の一部が新たに整備計画路線に格上げされると思われ、「山陰新幹線」「中国横断新幹線」(伯備新幹線)も今こそ活動を本格化し、次期整備計画に位置付けることを国に対して強く働きかけていかなければならないタイミングであるといえます。

こうした観点から、圏域の自治体・経済界等が一体となり、「中国横断新幹線」(伯備新幹線)を基本計画路線から整備計画路線に格上げし、沿線地域が一体となった幅広い活動の足がかりをつくるため、活動を始めるべきと考えます。

以上の趣旨に基づき、ここに「(仮称)『中国横断新幹線(伯備新幹線) 中海・宍道湖・大山圏域整備推進会議』設立準備会」を設立します。

平成30年10月29日

設立発起人

境港市長	中村勝治
安来市長	近藤宏樹
米子市長	伊木隆司
松江市長	松浦正敬
出雲市長	長岡秀人